

# 本日のヒアリングについて

資料3-1

	事業者名	発表者（敬称略）	説明時間	質疑等
1	株式会社 NTTドコモ	常務執行役員 山崎 拓	15分	45分
2	KDDI株式会社	執行役員 技術統括本部技術戦略本部長 前田 大輔	15分	
3	ソフトバンク 株式会社	渉外本部 執行役員本部長 松井 敏彦	15分	
4	楽天モバイル 株式会社	執行役員 技術戦略本部長 内田 信行	15分	

# 【参考】電波の利用状況調査の結果（帯域ごとの5G基地局の整備状況）

- 事業者ごとの5G基地局の整備状況は、NTTドコモや楽天モバイルはSub6やミリ波が中心となっており、KDDIやソフトバンクはローバンド・ミッドバンドの基地局数が多くなっている。
- 5Gの全国人口カバー率（2022年3月末時点で93.2%）はローバンド・ミッドバンドによる寄与が大きい。Sub6については、カバー率は限られているが、処理しているトラフィック量は最も多い。ミリ波帯については、局数も少なく、カバー率は0.0%、処理しているトラフィック量もほぼなく、限定的な利用にとどまっている。

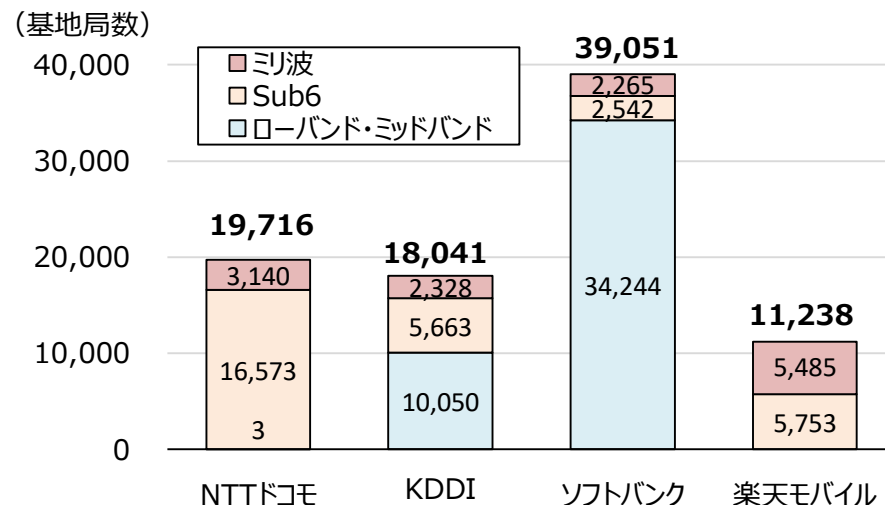
## 帯域別の各社5G基地局数と人口カバー率

	5G基地局数（人口カバー率）			
	NTTドコモ	KDDI	ソフトバンク	楽天モバイル
700MHz	-	4,334 (55.5%)	12,174 (90.7%)	-
1.7GHz	-	7 (0.0%)	10,670 (83.9%)	-
3.4GHz/ 3.5GHz	3 (0.0%)	5,709 (30.1%)	11,400 (52.8%)	-
3.7GHz	7,895 (15.4%)	5,226 (2.4%)	2,542 (14.3%)	5,753 (12.6%)
4.0GHz/ 4.5GHz	8,678 (31.8%)	437 (0.0%)	-	-
28GHz	3,140 (0.0%)	2,328 (0.0%)	2,265 (0.0%)	5,485 (0.0%)

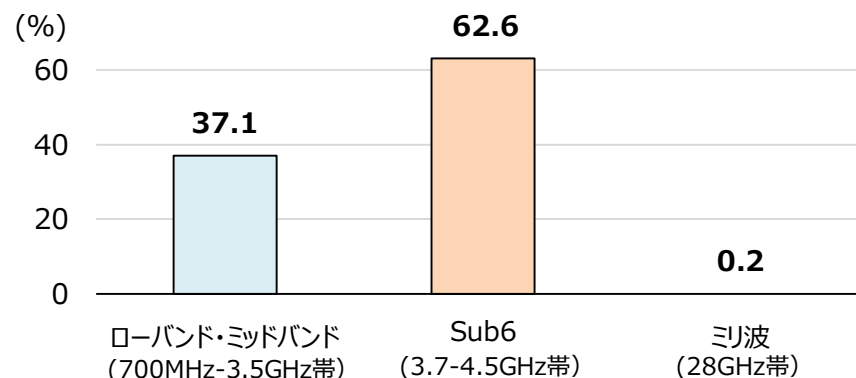
↑  
周波数：低  
伝送情報量：小  
カバーエリア：大

↓  
周波数：高  
伝送情報量：大  
カバーエリア：小

## 事業者別の5G基地局整備状況



## 帯域別の5Gトラフィック量



(出典) 総務省: 令和4年度携帯電話及び全国BWAに係る電波の利用状況調査の調査結果の概要を基に作成 (いずれも2022年3月時点の値)